

議 会 だ よ り 入 善

GIKAI

DAYORI

NYUZEN

No. 171

2014年10月27日

じゅわ〜と
にゅせん

目 次

大きいね

- | | |
|------------------------------|------|
| 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種に助成（補正予算） | 2 P |
| 入善駅周辺整備の財源確保に計画策定（常任委員会レポート） | 4 P |
| 町政を問う 一般質問（9議員） | 6 P |
| 空き家対策を進める ふじみ野市（委員会視察レポート） | 15 P |
| 青島・若宮社の秋祭り（入善の祭り） | 16 P |

9月
定例会

高齢者の肺炎球菌 ワクチン接種に助成

9月議会は、3日から18日までの16日間開会し、町長から提案のあった平成26年度補正予算3件、条例の制定など議案4件や教育委員会委員の任命の同意、議員提出議案1件について審議し、すべて可決した。また、陳情2件を審査したほか、10日、11日に一般質問が行われ、9人の議員が質問に立ち論戦が交わされた。

補正予算の概要

一般会計の補正予算は、入善土地改良区が実施する小水力発電事業に対する補助金や、多面的機能支払制度の参加組織の増加に伴う補助金の増額、海岸防災林造成事業区域拡大に伴う土地購入費の増額などである。

一般会計で2億5075万円を追加し、総額110億4351万円とした。

なお、下水道特別会計では入善浄化センターの修繕で465万円の増額、農業集落排水特別会計では管渠施設の移設と小摺戸浄化センターの修繕で300万円を増額した。

◎主な事業

○予防接種委託料

637万円

10月から定期予防接種の対象となる水痘及び高齢者の肺炎球菌感染症に対するワクチン接種費を計上する。

○共同利用システム導入推進事業費

1499万円

電算共同利用システムと戸籍など町単独システムとの連携及び社会保障・税番号制度システムに係る整備費を増額する。

○地域用水環境整備事業

2800万円

入善土地改良区が浦山新で取組む小水力発電施設整備事業に対して補助をする。

○多面的機能支払支援事業

2773万円

農地の多面的機能支払制度の参加組織の増加に伴い、補助金を増額する。

○海岸防災林造成事業

3488万円

県の海岸防災林造成事業区域拡大に伴い土地購入費を増額する。

○中小企業設備投資促進事業補助金

1400万円

申請件数の増加に伴い補助金を増額する。

○道路維持管理費

2200万円

消雪施設の修繕、管理に係る費用及び街路樹の剪定委託料を増額する。

○放課後児童クラブ推進事業費

115万円

学童保育における障害児の受入れに伴い指導員賃金を増額する。



土地改良区が行う小水力発電の予定地

条例の制定

入善町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

入善町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

平成27年4月から開始予定の子ども・子育て支援新制度に対応し、国の基準に従い、設備運営基準および事業運営基準などを定める。

討論

反対討論

井田 義孝 議員

保育新制度は、保育を市町村の責任から、保護者と施設の直接契約に変質させるものだ。

新基準では、小規模な10人以下の施設では保育士資格がなくても研修を受ければ運営できる。給食も他施設から搬入すれば調理室や調理員も必要ないなど、問題だ。現在の町の保育所に影響が少ないからと、保育の質の後退を認めるような条例を制定すべきではない。

全国には国の基準を上回る条例を制定した先進自治体がある。国の基準どおりの条例を性急に制定するのではなく、時間をかけて検討すべきだ。

賛成多数で可決とした

教育委員会委員の同意

平成26年9月30日で任期満了となる林芳子氏の後任として、上田優子氏の任命に賛成全員で同意した。



上田 優子 氏
(入膳)

陳情

手話言語法制定を求める意見書の提出に関する陳情書

陳情者

社会福祉法人 富山県聴覚障害者協会
理事長 石倉 義則

賛成全員で採択とした

年金・高齢期のくらしと地域経済を守る意見書提出を求める陳情

陳情者

全日本年金者組合黒東支部
支部長 稲葉 元一

反対多数で不採択とした

議員提出議案

●手話言語法制定を求める意見書

手話が日本語と対等な言語であることを示し、自由に手話が使われる社会環境の整備、手話を言語として普及・研究できる環境整備を実現できるよう、手話言語法（仮称）を早期に制定するよう政府に意見書を提出する。

賛成全員で可決とした

私たちが慎重に
チェックします

平成25年度決算の審査

平成25年度入善町一般会計および特別会計の歳入歳出決算の審査について、次期12月定例会まで決算特別委員会を設置し、審査することとした。

委員は次のとおり

委員長	鬼原 征彦
副委員長	野島 浩
委員	松田 俊弘
"	五十里 国明
"	田中 伸一
"	中瀬 淳哉

レポート

総務 常任委員会

駅周辺整備のため
立地適正化計画を
策定

Q 周辺の整備はいつごろ、どのような内容で行うのか。

A 駅周辺整備のため
の有利な財源確保

のため、立地適正化計画を策定する。

計画の内容として、入善駅西側の土地を、パークアンドライドの拠点として駐車場を整備する。

また、駅前ロータリーの利便性の向上、駅舎の老朽化や跨線橋こせんきょうの整備などを検討したい。

平成27年度に事業計画を申請し、28年度から事業に取り組むたい。

求められる駅横の駐車場整備



防犯灯のL
ED化の取
組みは

Q 防犯灯のL
ED化は毎年補正予算で不足を増額しているが、当初から十分な予算計上し、町内すべての防犯灯をLED化すれば、電気料減額につながるのではな

い。

いか。

また、どれくらいLED

D防犯灯に変わったのか。

A 地元負担もあるの
で、なかなか難しい。

予算額は平成25年度よりも増額となっている。

前年度で415基がLED化され、26年度では550基を予定している。

電気料の基本料金は減額となるが、固定価格買取制度による料金上乗せ分があり、大きな減額になっていない。

予防接種がどう変わるのか

Q 予防接種費用の増額の内容、対象人数はどうなのか。また、予防接種啓蒙のPRに対する考え方は。

A 新たに水痘と高齢者の肺炎球菌が定期予防接種の対象となった。

水痘の予防接種対象者は生後1歳〜3歳未満児な

どで747名。

肺炎球菌の予防接種対象者は65歳以上、5歳刻

みの年齢の人と100歳以上の1977名である。

対象者には町から案内を出す。

子ども・子育て支援新制度の開始に伴う条例案の内容は

Q 現状の保育より質が下がることはないか。

A 国の基準に沿って、家庭的保育事業などの設備の運営基準や事業の運営基準の条例制定を目指すもの。町では現状とは大きく変わらない。

最低基準を定める条例であるが、この基準をさらに上げる努力をする。

Q 町内には、認定子ども園や事業所内保育所の開設の動きはあるのか。

A 入善幼稚園は、認定子ども園について現在検討中である。

事業所内保育所の開設の動きはない。

Q 条例の制定は、民間の活力を生かすことになるのか。

A 町の子どもは町が責任をもつて保育所で預かる。しかし、低年齢児保育のニーズの増加など、町のサービスの面で、変化する保育ニーズに答えられるか不安である。民間の活力も借りながら、今後の保育体制を検討したい。

Q 育児休業による保育所退所児童の問題は、いままでと変わらないということだが、どうすべきか。

A 今後、保育の必要性について、町の保育所条例の改正の中で検討したい。

Q 町内には、認定子ども園や事業所内保育所の開設の動きはあるのか。

A 入善幼稚園は、認定子ども園について現在検討中である。

常任委員会

産業教育 常任委員会

飼料用米の保管施設
整備に補助金

Q 担い手育成対策事業費として、飼料用米の保管施設に360万円余りの補助金が計上されている。旧来から作付けされているのか、どのような品種なのかも合わせて概要を問う。

A 飼料用米の今後の伸びは見込めるのか。

A 品種名は、「あぎたわら」と言い、比較的収量が多く採れ、主に養鶏用のエサ米として需要がある。

作付面積は、旧来の5haから、今年度6haに拡大されており、来年度は、さらに2倍の12haの規模が見込まれている。
そのための保管用パイプハウス整備に補助をするものである。

飼料用米は、需要と供給のバランスを見ながら作付けされており、需要がないと作れない。

多面的機能支払制度
へ交付金の増額

Q 農地の多面的機能支払い制度の取組み状況はどうか。

A 町内57組織が取組むことになった。

対象面積は、約3090haで全農用地面積の8割に及ぶ。

取組み組織の増加に伴い、今回増額補正する。

Q 他の集落に土地を持っている場合も多々ある。他の地域との境目をどこに求めるのかなどについて的基本的な考えはどうか。

A 境界に接する土地は、基本的にどこの集落に属しているかである。

近隣で耕作している場合は、隣同士での話し合いというケースも想定で

きるが、基本はあくまでもエリアである。

中小企業の設備投資
へ補助金

Q 町内中小企業の設備投資への補助金1400万円の具体的内容は、

A 補助金の申請件数の増加に伴う増額である。

現在、町内企業5社より相談を受けている。企業の総投資額は、6億5600万円で、その5%を補助する。

商工業振興事業費を
増額

Q 元気な商店街再生事業の内容は、

A また、工事にあたっては、できるだけ町内企業を使うよう指導してはどうか。

できるだけ町内業者を使つて欲しいとお願ひしているが、要綱は特別に定めていない。

こんな意見も

● JR入善駅ホームの北側部分が、雑草や樹木が繁茂して景観が悪くなっている。

環境整備を図るべきだ。

● 学校給食の異物混入については、今後、食材を中心とした品質管理や日常のチェック体制などをマニュアル化し、危機管理意識をもって取組んでもらいたい。

● 沢スギ自然館の映像設備が故障したまま放置されている。

日本ジオパークに認定された県東部でも貴重なスポットであり、早急に修理すべきだ。



リニューアルした店舗内

A 中心市街地の商店のリニューアルなどに支援をするもの。申請件数の増加に伴い増額するものであり、今回、7件に支援する。

業種の内訳は、飲食4件、写真1件、洋服1件、お菓子1件である。



若者がどう入善ジャンボコンパ

若者の結婚支援をどのように進めるのか

町長 結婚支援業務を町の組織機構に しっかりと位置付ける



中瀬 淳哉 議員

問 町長は、所信表明の中で、結婚相談員制度を創設し、若者の結婚支援をしていくと言っていたが、地元の若者に対し、

どのように結婚支援を行っていくのか。

笹島町長 町の重要課題の一つが人口の減少化であり、まずは少子化対策に力を注ぎたい。

今まで、町の業務として明確に位置付けられていなかった結婚支援業務を、町の組織機構にしっかりと位置付けし、各地区との連携を整え、必要な予算計上を行っていききたい。

また、既存の県事業やJAみな穂の結婚相談員、町社会福祉協議会、商工会青年部などの取組みとも連携して、町全体で、実効性のある、結果の伴う内容となるよう努めて

いききたい。

今後の空き家対策をどのように考えているのか

空き家対策検討委員会の設置など検討していく

問 今年度の空き家実態調査の進捗状況はどのようになっているのか。その結果を受け、今後の空き家対策をどのように考えているのか。

町長 空き家実態調査の進捗状況については、現地調査をほぼ完了し、個別の空き家カルテを取りまとめるところであり、9月中には完了できる見通しだ。

今後の空き家対策については、適正な管理がされている空き家は、優良な住宅ストックであるので、空き家バンクへの登録と利活用の推進に努め、定住や半定住の促進、さらには、福祉や観光、商業など、様々な視点からの空き家の利活用について検討していきたい。

空き家実態調査の結果を配慮しながら、町独自の条例制定に向け努力したい。

問 空き家の手入れや見回りなどの管理業務をシルバー人材センターや障害者施設、民間企業と連携してはどうか。

関係部署と連携した庁内検討会をはじめ、学識経験者や町民の代表、民間事業者も交えた「空き家対策検討委員会（仮称）」の設置などについても検討していきたい。

町長 空き家や空き地の所有者が直接管理できない場合は、所有者に代わって日常の管理をしてくれる事業者があれば、空き家の維持管理は可能と思われる。

問 所有者に空き家の適正管理を求める条例を制定してはどうか。

また、空き家バンクへの登録の際にも、事業者の紹介ができることから、適正な状態を維持するためには、より有効な手段である。

町長 空き家の所有者に対して適正な管理を促し、指導や勧告を行うためにも、「空き家等の適正管理に関する条例」の制定は不可欠である。

今後の空き家対策の検討の中で、先進事例の調査や民間事業者の意見も聞きながら協議していきたい。

町長選挙公約への取り組み姿勢を問う

町長

減災体制を充実させるなど
安全・安心な町であることが大切



みんなで楽しく(横山保育所)

問 町長は選挙公約に「皆さんの笑顔があふれる街づくり」と「子供達の声が響き合う地域づくり」を掲げている。その

中の、

- ・災害発生時に備えての体制づくりと対応策
- ・農業や中小企業への支援体制の構築と、積極的な企業誘致
- ・元気な商店の支援と公共交通網の整備
- ・「あいの風とやま鉄道」の利便性向上

について内容を問う。

町長 笑顔があふれるまちづくりには、何より安全・安心な町であることが大切。

具体的に「減災」体制を充実させる。津波や高波時における海岸地域からの避難道路の整備や自主防災組織の活動強化を図る。避難判断が遅れない

いよう再点検する。

農業支援については、コシヒカリの品質回復を期待する。「売れる米作り」が持続可能な農業経営には不可欠で、ブランド化や6次産業化、特産品の開発を進める。

企業へは、大型投資の支援と、昨年度創設した中小企業の設備投資にも支援を行う。町内企業の関連会社の誘致も重要だ。商店への支援として起業チャレンジ応援事業では12軒の商店が開業した。改築や買取り、リニューアルにも今年度から支援し、相談も増えている。中心市街地活性化には入善駅周辺の再整備も図

る。

町営バスには批判もある。新幹線駅へのアクセスの課題もあり、効率的な運行を目指す。

「あいの風とやま鉄道」の利便性向上では、快速列車が平日2往復増便された。入善駅でJR切符の購入が可能となった。

子どもたちの声が響き合う地域づくりとは
産み育てやすい環境づくりを強化する

問

また、
・3人目以降の保育料無料化や、希望者全員が入所できる保育体制の整備と子どもの産み育てやすい援策
・希望者全員が参加できる学童保育体制づくりの内容を問う。

町長 来年4月からの「子ども・子育て支援新制度」で「保育を必要とする」実施概念が拡大された。

各家庭には、それぞれ希望される事由があると承知している。保育現場の体制整備を急ぐ。

3人目以降の保育料無料化については、第3子をもうける家庭への支援になる。早い段階の実施を検討する。

産み育てやすい環境づくりでは「子宝支援金制度」を強化し、保護者の負担軽減に努める。

岩田教育委員会事務局長 現在、全小学校区で学童保育を開設している。町では指導員確保に努め、今後も学校の余剰教室や公共施設を活用し運営したい。



佐藤 一仁 議員



稲の刈り取りに励む農家

米価暴落による農家の収入減は 農水商工 4億円超の見込みで 非常に影響が大きい



松田 俊弘 議員

問 米価の暴落が、農家の経営を圧迫している。20haの稲作農家で約340万円の収入減になるが、町全体ではどうか。

竹島農水商工課長 在庫が多く過去最低になった。町全体で4億円超の減額となる見込みだ。

問 今年から減反補助金が減らされ、町農家全体で2億円も収入が減る。

国民の命を支えるのが農業だ。国が農家の経営を支援するのは当然だ。

政府の収入影響緩和対策（ナラシ）で、どれだけ補てんされるのか。

必要な農家へ無利子の緊急融資を行うべきだ。古い備蓄米を飼料に回し、備蓄米の購入拡大を

国に求めよ。

農水商工課長 ナラシ対策で、認定農家などに収入減の9割が補てんされ

る。町では稲作面積の55%が対象だ。

融資は、品質などを見てJAと協議したい。備蓄米を飼料米として販売増加を求めることは

難しい。

くらしや地域経済のために増税はやめるべき
慎重に対応する必要が
ある

問 4月～6月の国内総

生産の大幅落ち込みは、個人消費の低迷が要因とされているが、町内企業の給与の実態はどうか。

町長 町内の主要企業はほぼ横ばいだが、物価上昇で実質賃金は13カ月連

続で減少となった。

問 トヨタは過去最高の利益を上げているが、下請企業の多くが、以前の水準を回復していないと聞く。町長は、下請単価の改善を求めるべきだ。

住民は「くらしが厳しくなった」と言っている。消費税10%への増税はやめるべきではないか。

町長 下請け単価の改善を、あらゆる機会を見つけて働きかけていきたい。

消費税増税は、地域経済やくらしに大きな影響がないよう、慎重に対応する必要がある。

津波対策に堤防などの
改修と整備を求めよ
改修を急ぐよう国へ要
望する

問 国土交通省は、日本

海の地震による津波推計で、入善町で最大7.5mと発表した。

老朽化した堤防や波消しブロックなどの改修と整備を急ぐよう、県や国に働きかけるべきだ。

横山・栲山の両用水が一定量の雨量で、自動的に水門が閉まるようになった。その分入川が増水するので注意が必要だ。

大角総務課長 今後とも、護岸の改修を急ぐよう国へ要望する。

窪野建設下水道課長 栲山上流用水の余水吐き施設の改良工事を行い、入川への急激な増水の防止

対策を行った。

今後、パトロールによる確認や水量調整などを強化していく。

新川の介護認定は厳し過ぎるのでは

健康福祉課長

適正な認定調査、審査に努力

介護認定の結果 (H25年4月～11月)

56.5%			新川地域介護保険組合
31.2%	25.3%		
46.9%			富山県平均
24.7%	22.2%		
52.1%			全国平均
32.5%	19.6%		
要支援	要介護1	要介護2～5	

問 新川地域介護保険組合の介護認定は、他に比べて厳し過ぎるとの声を聞いている。当組合では要介護1や要支援など、

軽度と判定される人が県平均より10%も多いが、どのように考えているか。

また、1次判定が2次判定で修正される率が、全国的に見ても突出して高い。最初の認定調査が実態を反映していないのではないか。

介護保険から町事業に移される要支援の人は、現状のサービスを受けられるのか。

小堀健康福祉課長 適正な認定調査、審査に努力していると考えている。要支援の方が町の新事業に移行しても、希望する方は今までどおりのサービスが受けられる。



井田 義孝 議員

臨時保育士の身分保障を

待遇改善に努力する

問 町では10年以上働いている臨時保育士が6人もいる。

民間では5年以上働いた臨時職員が希望すれば、正規採用しなければならぬ。

保育所の入所制限をなくすため、身分保障と待遇改善を図り、保育士を増やしていくべきではないか。

町長 賃金も改善し正規採用試験の対象年齢も引き上げた。待遇改善にも努めている。

保育所や給食は民営化せず職員増で対応を職員数は長期的な見地から判断すべき

問 子どもの命と健康を預かる保育所や給食を安易に民営化すべきでない。職員を71人も減らした結果、サービスが滞っている。職員を増やして、町の責任で対応すべきだ。

総務課長 民営化は効率的で、より良いサービスの向上のためだ。職員数は、長期的な見地から判断すべきである。

地下水くみ上げ 住民は懸念 相互理解と合意のもとで進めてほしい

問 黒部川内水面漁協がアユの中間育成のため、

日量2160tの井戸を掘る計画があり、周辺住民が地下水減少を懸念している。

7月から施行された水循環基本法では、地方自治体は自主的・主体的に水循環を維持する責務があると定めている。

町は内水面漁協、住民との調整を図るべきではないか。

堂徳住環境課長 井戸掘削にあたっては、内水面漁協と地域住民の話し合いによる相互理解、合意の下で事業を進めてほしい。

問 園家山周辺を、ジオパークの中心の見学地であるジオサイトと位置づけ、地域振興を図るつもりはないか。

町長 湧水群の魅力を発信する拠点として、地域振興を進めたい。



初議会での所信を述べる



五十里 国明 議員

新町長の政治信条は
町長 公正、無私を信条と考える

問 12年ぶりの保守系同士の激しい町長選で、行政経験が豊富な笹島町長の誕生を町民が選択した。卓越した人格、識見に

町民は期待したのだと思う。

38年の町職員の行政経験を生かし、「いかなる時でも、清潔で公正で」を信条とし、町政執行に当たってほしい。

町長は「米澤町政を継続する」と選挙戦で述べていたが、前町長の恥部の継承は、絶対すべきではない。町長の政治信条はどうなのか。

町長 私は38年間に及ぶ町職員時代、町議会議員を通して、常に「公正無私」を座右の銘に、職務に当たってきた。

「隔たりなく人に接し、私心を捨て、他の人のために尽くしたい」との思

いは、何より大切に堅く守るべき信条だと考える。

副町長は何故辞任しなかったのか

新たな副町長が定まるまで務めるのが責務

問 副町長は6月13日の総務常任委員会、6月16日の産業教育常任委員会で、8月末前町長と同時に辞任すると言っていた。

「当面は継続する」と新聞報道されているが、副町長は何故前町長に辞表を提出しなかったのか。

林副町長 地方自治法161条、162条、167条に基づき、町長と一心同体で町政の推進を図

ることを考えている。

問 副町長は地方自治法161条、162条、167条の説明をしながら、165条を本員が質すまで説明しなかったのはなぜか。

林副町長 副町長が退職する場合は、20日前までに町長に退職の申し出をしなければいけない規定が165条だ。

6月定例会の両委員会、前町長の任期満了に伴い、職を辞すると答弁した。

私が議会の同意を得て選任されながら、個人の私見で職を辞することは、円滑な町の事務処理をはじめ、副町長の責に充てないとは議会より注意を受けた。

軽率な発言だったとお

詫びを申し上げたい。

生活困窮者自立支援制度の取組みは
県の促進支援モデル事業に参画

問 来年度から始まる生活困窮者自立支援制度で「市町村の3割で担当部署が決まらず」と厚生労働省で発表した。

本町はどのような取組みを考えているか。

健康福祉課長 本町ではこれに係わる事業は、新川厚生センターの所管である。新制度の円滑な施行に向けて、今年度、県が実施主体となっていく「富山県生活困窮者自立促進支援モデル事業」に参画しているところだ。



実現を目指す北アルプス横断道路構想

北アルプス横断道路構想の 実現を目指す取組みを示せ

町長 新川2市2町の連携強化を図り 要望活動を継続していく

問 富山県と長野県や首都圏との交流人口を増加させるためにも、北アルプス横断道路構想の実現を目指す取組みを示せ。

町長 この構想については魚津市、黒部市、入善町、朝日町で平成4年に設立された「日本海・関東首都圏連絡道路建設構想推進会議」がある。

富山県では、県の総合計画の長期構想である「とやま夢想」に位置づけられている。

建設にあたり長大なトンネルと膨大な費用が必要で、技術面や環境面など克服すべき課題が非常に多い。

また、この構想は、事業規模が極めて大きいため、国家プロジェクトとしての位置づけが必要である。

町としては、2市2町

の推進会議の取組みの1環として、毎年県に要望活動を行っている。

北アルプス横断道路が整備されれば、富山県と長野県や関東圏の距離が短縮され、経済、観光、文化交流の発展に飛躍的な効果が期待される。

今後は、関係市町や議会が一体となつて連携を密に図り、要望活動を継続し、県に実現を働き掛けていく。

農地の多面的機能支払制度の取組み状況は希望している57組織すべてが交付の対象

問 今年度から取組んで

いる多面的機能支払制度の現状と今後の推進に向けた施策は。

建設下水道課長 新規取組み希望組織に対して、各地区に出向き説明会を開催した。

支払を希望する57組織を県に確認したところ、全ての組織が支払交付の対象となった。

用途地域における「農地維持支払」の交付金の算定は、従来の農地・水保全制度になかったものである。多面的機能の観点から、町が特に認める場合は、その農用地を面積に含めることが可能となった。

今後、国や県、JAや土地改良区などの関係機関と連携を密にし、農村の環境向上のため積極的

に取組んでいく。

「水の小径」一帯の保守・管理の状況は
繁茂しているケヤキは剪定作業を実施する

問 整備から20年余り経過する「水の小径」一帯の保守・保全管理と、入善用水沿いに転落防止柵の設置が必要ではないか。

建設下水道課長 中低木は毎年剪定作業を行い、せせらぎ水路の清掃作業は専門業者が実施している。

転落防止柵の設置は現状を踏まえ検討していく。

町による、清掃作業を適切に行い、住民の方々が安全・安心に利用できるよう管理保全に努めていく。



田中 伸一 議員



大規模改造中の上青小学校

新町長としての小・中学校教育への思いは
町長 教育環境の改善や要望を
バックアップする事が使命



野島 浩 議員

問 町長の公約に教育環境の改善とあるが、今後の特色ある小・中学校教育への思いを問う。
町長 就任にあたり「子

供達の声が響き合う地域づくり」を所信とした。子どもたちが安全に安心して、学校生活をおくれるよう教育環境を整備する。

また、教育現場から特色ある教育を実施したいとの要望があれば、実現に向けてバックアップすることが使命である。

特に、黒部川扇状地が育んだ自然や文化など、数え切れない財産に恵まれたこの地で、中学校卒業までの15年間、勉強や様々な活動に元気で明るく取組んで欲しいと願っている。

問 教育委員会制度改革による、首長としての委

員会への責任と関わり方について問う。

町長 今回の改正により教育委員会が町長部局へ移行することとなり、「新教育長」の任命責任

が重くなる。

いじめや非常時の事故などに迅速に対応できるように、首長の意向も現在より反映され易くなる。

新制度の運用については、今後、説明会や研修会も控えており、国の意見をも十分に聞きながら対応したい。

問 全国学力テストの結果が公表された。成果や成績の公表についての考えはないか。

滝本教育長 毎年の調査

結果を受け、少人数指導や習熟度別学習が重要であるとの結論に至った。

今年度から、県の協力を得て、全町の小学校に教員を1名ずつ特別配置することとなった。

市町村別の成績公表については、現在、考えていない。

空き家を利用した「第2のふる里」構想を
宿泊型体験施設について
研究を進めたい

問 空き家の実態調査についての町の考え方は。

また、交流人口の拡大や定住、半定住の促進に利用したり、大規模な緊急災害時における仮設住宅として利用できるなど、

空き家を利用した「第2のふる里」構想を検討してはどうか。

建設下水道課長 実態調査については、ほぼ完了し、現在「空き家カルテ」を作成中である。

空き家については、適正な管理が行なわれているものは、優良な住宅ストックであり、地域財産となり得ると考えている。再利用については、グリーン・ツーリズムの手法を利用した県内外の先事例を参考にし、宿泊型体験施設としての研究を進めたい。

また、所有者の理解を得て、大規模な緊急災害時における仮設住宅として利用できるような対応も検討したい。

中央プールの老朽化をどう捉えるのか
町長 総合計画の中で検討を進めていきたい



老朽化した中央プール

問 中央プールは老朽化が進み、毎年、修繕が大変と聞いているが、実態はどうか。近い将来、改修または新設を検討しているのか。

町長 中央プールは、建設されてから48年が経過している。耐用年数である30年を大きく超過している。現在、給排水機能の不良や、ろ過機能の低下、プールサイドコンクリートブロックやプール底面タイルの破損、更衣室やトイレ設備の老朽化などが進行している。

小規模修繕工事により施設の機能保全や、施設利用に係る安全性の確保に努めていきたい。今後どのような水泳プール機能が求められるのか、町が所有するプールの活用方法や改修計画などを

含めて、関係者などとの調整を図りたい。長期的な展望に立ち、総合計画の中で検討を進めたい。

詐欺犯罪に強い町づくりをどう進めるのか
詐欺被害ゼロのまちを目指していく

問 詐欺犯罪の被害に遭わないよう、地域と行政が一体となり、安全・安心な社会を築く手立てを進めよ。
住民環境課長 詐欺被害が、深刻な社会問題となっている。上半期において、全国の被害件数は777件、

被害額は268億3000万円に上り、過去最悪となっている。詐欺の手法が、複雑・巧妙化してきたこと、消費者の詐欺に関する知識が乏しいことが、これらの事態を招いていると考える。

町では消費者トラブル防止啓発パンフレットの配布、消費者講演会の開催、広報入善やケーブルテレビなどでの啓発活動を行っている。
住民環境課に生活安全相談窓口を設置し、県の消費生活センターや警察署などと連携して、未然防止や被害者相談に対応している。
今後も福寿会や各種団体に対し、出前講座の活用を図る。

町指定保存木の現状はどうなっているのか
保存木の在り方などについて検討する

問 今後、保存木の保存・管理をどう行うのか。
教育委員会事務局長 現在、保存木は、上野の正覚寺のツカなど40件余りの34カ所を指定している。立ち枯れなどにより消失したものが9本あると確認している。

保存木を指定してから30年以上経過し、保存木の消失や樹勢などを確認した上で、今一度、保存木認定の見直しが必要ではないかと考えている。



五十里 忠茂 議員



電気料金無料化の町を目指して

風力・小水力発電の増設による 電気料金無料化の町を目指せ

課長 企画財政 費用対効果など導入の可能性 優位性を検証し積極的に取組む



本田 均 議員

問 風力発電や小水力発電の増設を通じて自給自足のエネルギー政策を研究し、「電気料金無料化の町」へのチャレンジが

できないか。

現在大きな課題である人口減少対策にも、大変有効であり、波及効果も高いと思われるが、見解を問う。

梅津企画財政課長 「電気料金無料化の町入善」

を目指し、大規模な再生エネルギーによる発電施設を積極的に整備し、電力の自給自足を促進することは、大変有意義で、夢のある提案だ。

自治体が取組むエネルギー施策の理想形とも言えるのではないか。

また、そのインパクトは町のイメージアップと、定住促進や地域経済の活性化にも効果をもたらす

と考えられる。

課題も多くあるが、費用対効果など、導入の可能性、優位性を検証しつつ、積極的に取組んでまいりたい。

創業者の発掘と支援を行う考えはないか

商工会とともに支援につなげたい

問 創業促進補助金を活用して、創業者の発掘と支援を行う考えはないか。

また、経営革新支援事業への利子補給や、補助金支援を行う考えはないか。

町長 創業促進補助金については、認定支援機関

に事業計画の実行性などが確認される必要がある。

商工会とともに制度の周知をはかり、新規創業者の発掘から、支援につなげたい。

経営革新支援事業の利子補給については、制度化について商工会と協議しながら検討したい。

親水という視点での施設整備の計画はないか

新たな水公園の構想も含め検討したい

問 園家山周辺整備計画のほか、中心商店街や運動公園周辺などにも、親水という視点から、身近で気軽に立ち寄る事ができ、触れることができる

施設整備の計画はないか。
建設下水道課長 水をテーマにした公園は、子どもたちが直接水辺で遊ぶことができ、あるいは、身近に感じることができ、機能を大切にしながら、維持管理していくことが重要だ。

現在、園家山湧水池公園について、周辺一帯の再整備とあわせて、検討を進めているところである。

また、町の名水を象徴する新たな水公園の構想も含め、検討したい。

総務常任委員会研修視察レポート

空き家対策とローカル線の活性化対策を視察して

埼玉県・千葉県 7月2日～4日

初日は埼玉県ふじみ野市庁舎を訪れ、ふじみ野市が行う空き家対策を聞き、意見交換を行った。

2日目は、千葉県大多喜町のいすみ鉄道株式会社のムーミン列車に乗りした後、ローカル線の活性化策で研修した。

空き家の適正管理に関する条例の制定

ふじみ野市は、都心から30kmに位置しながらも、河川や雑木林など豊かな自然が残り、また、交通の利便性を活かした流通業や首都近郊農業などが盛んなまちとして発展を続けている。

同市では、昭和30年から40年代頃に30坪未満の狭小地に建てられた建物が多く、空き家になるケースが目立った。そこでふじみ野市では、



ふじみ野市での研修

空き家などが放置され、管理不全な状態となること

シルバー人材センターと提携

空き家管理に関する条例を制定し、所有者に空き家の適正管理を求めるため、所有者の責務、実態調査、助言、指導および勧告、命令、そして命令に違反する場合は公表することを定めている。

とを防止するために、ふじみ野市とシルバー人材センターが空き家管理の提携を行っている。

主な事業内容としては、除草、樹木の伐採、植木の剪定、窓の開閉、小規模修繕、見回りなどである。

空き家の苦情が近隣住民から市に入ると、市から空き家所有者に、まずは管理の要請を行う。

次に、シルバー人材センターが行う空き家管理業務を紹介し、取次を行い、所有者がセンターと契約を行う。

また、空き家の管理業務は、管理報告書と見回り点検チェックシートをもとに行われる。

千葉県房総半島のいすみ鉄道

いすみ鉄道は、千葉県房総半島のいすみ市・大多喜町を走るローカル線で、昭和63年より第3セクター方式により運営されている。

JR外房線大原駅で乗り換え、上総中野駅まで延長約27km間に14の駅がある。

本多忠勝が築城した大多喜城をシンボルとした歴史ある城下町と、自然豊かな沿線の町並みの中を走るのが魅力である。

また、春には沿線一面に菜の花が咲き、まるで黄色いじゅうたんの上を走るような気分を味わえるとのことだ。

しかし、沿線の人口減少により利用者が減少したため、行政や地域のバックアップを受けながら、新駅の設置・商業施設との連携・オフシーズンの観光客の取り込みなど、様々な活性化策を展開している。

生き残りをかけた様々な活性化策

経営体制の見直しとして、

- ① 民間経営者の登用を行い、民間的経営感覚を取り入れている。
- ② 給与水準の引き下げ、嘱託職員の積極的な活用などにより、人件費を削減している。
- ③ 住民の利便性向上と鉄道の利用促進を図るため、ショッピングセンターの近くに新駅を設置するなどがある。
- ④ オリジナルグッズや地元産品
- ⑤ 駅名命名権の販売、花壇オーナー、枕木オーナーなどを募集し、地域の方にサポーターとして参加してもらう。
- ⑥ 住民の利便性向上と鉄道の利用促進を図るため、ショッピングセンターの近くに新駅を設置するなどがある。



全国で唯一の旧国鉄型ディーゼルカー

入善の祭り

若宮社の秋祭り

(青島)

若者たちで継承

実りの秋、稲刈りが終わると青島地区にある若宮社から、



獅子舞の笛や太鼓の音が聞こえてくる。

青島地区では、毎年10月に若宮社の御神幸が行われる。御神幸は、若宮社のご神体を神輿に移し、神輿を担いで地区内を2日間、巡幸する。

昔から、毎年欠かしたことがなく、保存会をつくらずに、青島地区の35歳までの若者で構成する親交会によって、継承されてきている。

勇壮な天狗舞で最高潮に

御神幸は、地区内のお払いを希望する家々を、神主と天狗に踊り子などが一緒に巡幸し、家々の厄を払う。

神輿が家に着くと、神輿を威勢よく左右に振り傾けて厄を払う。その後、神主がお祓いをし、獅子、天狗による厄除けの「起

こし舞」が演じられる。

次に、小学生の男の子による子天狗、着飾った女の子による踊りが演じられ、所によっては、猩々獅子舞と太鼓の共演などが披露される。

最後に、大天狗による勇壮な天狗舞が舞われ、舞が終わると同時に神輿が上がり、次の家へ行く。

多くの見物人には、お神酒や、料理などが振舞われ、祭りも最高潮に達する。

2日目の夜、無事に若宮社に帰ってきた神輿は、宮の周りを威勢よく担がれ、最後に若宮社に勢いよく入り、神輿から神を戻し、御神幸が終わる。

90年以上の伝統が新たなコミュニティを形成

青島の獅子舞は、諸説あるようだが、新屋の獅子舞から伝わっているといわれている。古くは、大正時代に六画堂の作りの神輿があったが、上



野村に神輿が2つあったそう
で、そのうちの1つを大正12
年に上下野から購入したと、
古老の伝えがある。
以来、何回かの修理を重ね
ながら90年間以上守り継承さ
れている。

住民は「青島の御神幸は、
親交会を中心にこれからも運
営されていくだろう。そして
地区が一体となって応援し、
地域の重要なコミュニティの
行事として、今後も守り続け
ていかなければならない」と
述べている。

編集の窓

総務省の調査によると、インターネットの利用者が初めて1億人を越え、普及率は82・8%になったそうです。

町も9月30日に、ホームページをリニューアルしたところ。それに伴い、議会広報も創刊号から全て見ることができるようになりました。

当時、創刊に当たって議長は「議会だよりが皆様の心と議会の心をつなぐ絆の役目を果たせるよう」と記しています。

情報化の中にあっても、創刊時の思いを新たに取組んでまいります。

議会広報編集特別委員会

議長	中瀬 範幸
委員長	鬼原 征彦
副委員長	松田 俊弘
委員	山下 勇
"	野島 浩
"	田中 伸一
"	中瀬 淳哉